

大谷學報

第 89 卷 第 2 号

2010年 7 月15日 発行

信の仏教の系譜……………井上尚実 (1) 『スッタニパータ』「アーラーヴァカ経」と 「ヴァンギーサ経」に描かれる「信」の原風景 法然門下における「弘願一乘」の究明と 親鸞の「一乗海积」……………藤元雅文 (46) ——「論書」としての『教行信証』への一視座——	彙報……………(67)	学位論文審査要旨……………(55) 二〇〇九年度 研究発表会 発表要旨……………(45)	〈底〉から〈的〉への 交代状況からわかること……………渡部 洋 (19) 世界遺産エルデニゾー寺院(モンゴル国)で 再発見された漢毛対訳 『勅賜興元閣碑』断片……………松川 節 (1)
---	-------------	---	--

大 谷 大 学

大 谷 学 会

世界市民思想をめぐって…………… 朴 一功
『古事記』禊祓の段について…………… 大秦 一浩

——「身に著ける物を脱くに因りて生れる神」
の名義と物語——
教師論における
実践知の解釈をめぐって…………… 大野 僚

——小川正の上田教育論解釈批判——

二〇〇八年度 研究発表会 発表要旨
彙 報

学位論文審査要旨

地域福祉研究における
「地域」認識の課題…………… 志藤修史
人生の後半における
「遊び」の意味について…………… 谷口奈青理
ワーズワスの『教会ソネット集』…………… 宮川清司
——聖なる河

妙立慈山『答作智信女』について…………… 藤谷昌紀
詩教育観から見た三好達治…………… 國中 治

二〇〇九年度 春季公開講演会 講演録
真宗と教育…………… 水島見一
——清沢満之の「独尊子」について——

死んでゆく不思議・
生まれてくる不思議…………… 西平 直
——子どもたちにどう伝えるか——

二〇〇八年度
修士論文・卒業論文・卒業研究題目一覧
彙 報

学位論文審査要旨

可死の神…………… デッケルコルニル アルブレヒト
トマス・ホップズ『リヴァイアサン』の表紙絵を讀
み解く
ことばにおける声と意味…………… 矢野のり子
——ジャルゴンをめぐって——

THE
OTANI GAKUHO
(THE JOURNAL OF
BUDDHIST STUDIES AND HUMANITIES)

CONTENTS

Articles:

- The Rediscovered Fragment of Sino-Mongolian Inscription of
1347 from Erdenezuu Monastery, Mongolia *MATSUKAWA Takashi* (1)
The things which can judge from circumstances of a
postpositional word “de (底, 的)” *WATANABE Hiroshi* (19)
-

Résumés of Papers Presented at the Otani Society

- Annual Meeting 2009 (45)
-

Examination Report of Theses Presented

- for the Degree of Doctor of Literature (55)
-

Articles:

- The Inquires into the “One Vehicle of the Universal Vow” by
Honen’s Disciples and Shinran’s Comment on the
“Ocean of the One Vehicle”: *FUJIMOTO Masafumi* (46)
A Standpoint from which to see the *Kyogyoshinsho* as a “Treatise”
Genealogy of Faith-oriented Buddhism: *INOUE Takami* (1)
A Sketch of an Archetypal Scene of *saddhā* as depicted in the
Āḷāvaka Sutta and *Vaṅṅīsa Sutta* in the *Sutta Nipāta*

Miscellaneous:

PUBLISHED FOR THE OTANI SOCIETY
OTANI UNIVERSITY
KYOTO, JAPAN

大谷学会規程

(設置)

第1条 大谷大学（大谷大学大学院、大谷大学短期大学部を含む。以下「本学」という。）に大谷学会（以下「本会」という。）を置く。

(目的)

第2条 本会は、本学の学術研究の推進と、その成果の公開を目的とする。

(事業)

第3条 本会は前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 「大谷学報」の発行
- (2) 「大谷大学研究年報」の発行
- (3) 研究会及び公開講演会の開催
- (4) その他必要な事業

(役員)

第4条 本会は本学の教育職員（専任職員及び契約職員）及び学生をもつて会員とする。

2 前項のほか、本会の趣旨に賛同し、役員会において承認された者は、会員となることができる。

(役員)

第5条 本会に次の役員を置く。

- (1) 会長
- (2) 副会長
- (3) 委員
- (4) 監事

第6条 会長には大谷大学長が当たり、本会を代表する。

第6条の2 副会長には学監・文学部長が当たり、会務を統理する。

2 副会長は、第3条第1号及び第2号の編集兼発行者となる。

第7条 委員は10名とし、教授会において互選

する。

2 委員は、企画、編集、出版等の会務に当

たる。

3 委員の任期は、2年とする。ただし、再

任をさまたげない。

第7条の2 会務を円滑に遂行するため、庶務

を置くことができる。

2 庶務は本会委員の中から会長が委嘱する。

第8条 監事は、2名とし、教授会において互

選する。任期は2年とする。

2 監事は、本会の会計を監査する。

(研究発表等)

第9条 会員は、本会の出版物にその研究を發

表し、「大谷学報」及び「大谷大学研究年

報」の配布を受け、本会主催の会合に出席す

ることができる。

(会費)

第10条 会員の会費は、年額四〇〇〇円とす

る。ただし、学生会員は二〇〇〇円とする。

(運営経費)

第11条 本会の経費は、会費をもつてこれに当

てる。本会の必要経費については、助成金を受

けることができる。

(事務所管)

第12条 本会の事務は、教育研究支援部教育研

究支援課の所管とする。

(規程改正)

第13条 この規程の改正には、教授会の議を経

なければならぬ。

付則

1 この規程は、一九八一年四月一日から施

行する。

2 一九六二年四月一日施行の「大谷学会会

則」はこれを廃止する。

付則 この規程は、一九九三年四月一日から施行する。

付則 この規程は、一九九五年四月一日から施行する。

付則 この規程は、二〇〇二年六月一日から施行する。

付則 この規程は、二〇〇六年十一月八日に一部改正し、同日から施行する。ただし、第3条第1号については、第86巻第1号から適用する。

〈大谷学会委員〉

加来 雄之	加藤 文雄
國中 治	番場 寛
東館 紹見	三木 彰郎
三宅伸一郎	山内 清郎
脇中 洋	采翠 晃

大谷学報第八十九巻第二号
二〇一〇平成二十二年七月十五日発行

編集兼 大谷学会
発行者 門 脇 健

発行所 大谷学会

〒六〇八四四 京都市北区小山上総町
大谷大学内

振替 〇一〇四〇七一八三九三番
(〇七五) 四一一八一五八〇

印刷者 中西隆太郎

学生会員 投稿規程

1. 本学会学生会員で、『大谷学報』に論文の掲載を希望するものは、指導教員の推薦状を添えて投稿できる（一六〇〇〇字以内とする）。
2. 投稿された論文は、審査を経て採否が決定される。
3. 論文の審査は、編集委員および編集委員が選任委嘱する審査委員（若干名）によって行われる。
4. 審査の結果は左記の通りとし、②③の場合には、投稿者にその理由を通知する。
 - ① 採用
 - ② 条件付き採用（修正がなされた場合採用）
 - ③ 不採用
5. この規程は、『大谷学報』第八十九卷第一号より適用される。